

ショッピングバスケットシステム・プロ

バージョン 4.xx 取扱説明書

1 特徴

- ✓ クッキーと一時ファイルを利用して、選択(バスケットに入れられる)できる商品の数は論理的に制限はありません。(簡易ショッピングバスケットとの比較)
- ✓ フレーム専用となりますが、現在の買い物状況が随時表示され、かごに入れるたびに一覧が出ません。
- ✓ 商品管理ファイルは都合で複数に分けて設置しておくことができます。実行時にはそれぞれのファイルはまとめられて処理されます。
- ✓ 任意の形式で商品紹介画面を作成した場合でも、その画面でバスケットに入れることができます。
- ✓ 商品管理ファイルにはコメント行や空行を入れることができるので、編集時に便利です。
- ✓ 商品管理ファイルには任意に利用できる項目として、備考欄を3つ用意しました。項目名は初期設定で任意の名称にできますので、お客様に見せる分類や説明として利用することができます。なお、その項目も文字列検索の対象にすることができます。
- ✓ 商品管理ファイルをWeb上で書きかえる簡易エディタが添付されています。コメント行の編集やセパレート(空行)の挿入はできません。(ファイルの編集はできるだけローカル上のパソコンで行うことが望まれます。)
- ✓ 個々の商品毎に、お買い上げ数量の入力方法を設定することができます。数字を入力してもらう方法、あらかじめ用意した数字の中から選択してもらう方法、チェックボックスを利用して1つ選択してもらう方法があります。(search.cgi利用時)
- ✓ 任意の形式で商品紹介画面を作成した場合は、決められた形式の範囲内で、お買い上げ数量の入力の自作することができます。
- ✓ ご注文された後に自動的に、注文者へ注文事実の確認をする電子メールを送信する機能があります。受信した方がその内容に覚えがない場合は、勝手にその方のEメールが使われた可能性があり、不要なトラブルを防止できます。
- ✓ ご注文フォームは御社に会わせて再構成できるように、別ファイル(juchu.txt)で設定することができます。
- ✓ 訪問販売法による告知内容を申し込み時に大きく表示することで、お客様に安心感を与えることができるとともに、ご注文フォーム同様、別ファイルで設定することができます。
- ✓ ご注文時には受付番号を自動的に発行するので、問い合わせなどで便利に利用できます。

消費税の計算方法について

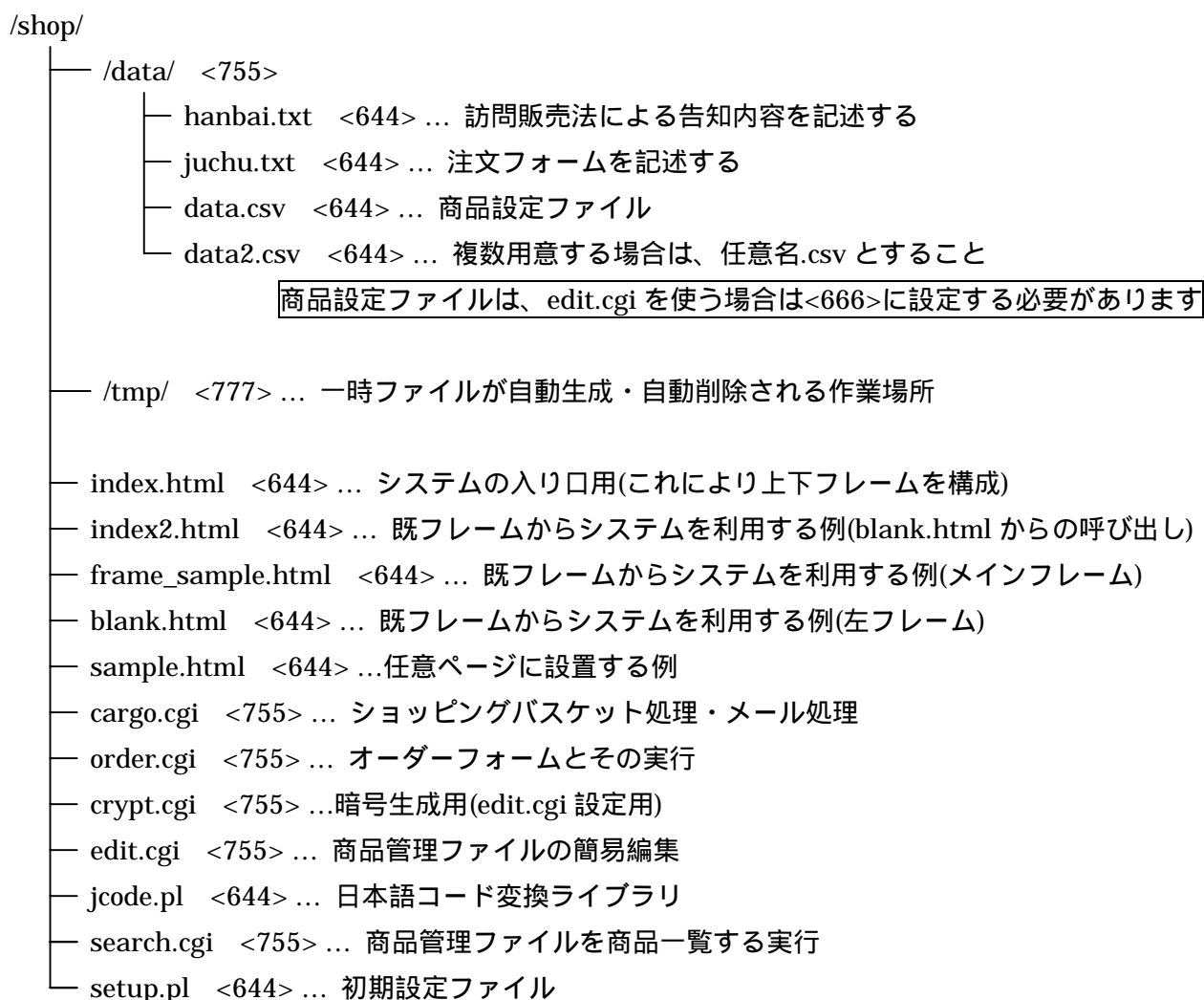
このシステムは、各商品の税別合計に消費税率を掛けるようになっています。商品毎には参考としての消費税額を計算して表示します。それで問題になるのが、小数点以下の値の取り扱いです。旧バージョン(~v3.11)では、商品毎に切り捨てで計算した消費税を積算させていたために、切り捨てされた額が微妙に影響し、数円の差が生まれてしまいました。そこで、画面上には商品毎に切り捨てた、参考としての消費税額額を表示しますが、最終的な小計合計から消費税を計算し、合計となります。当システムでは**小数点以下は切り捨て**を採用しています。切り上げ、四捨五入、五捨六入など、様々な形態がありますが、それが売り手と買い手が納得(契約の成立)していれば、税務上はいずれを選択してもいいことになっています。税務上必要な消費税額は、実際に預かった消費税額であり、その算出方法は前述したとおり、柔軟に対応できます。いずれの場合も、数字の転記の際は、十分再確認の上、問題の無いように行ってください。

2 設置環境と構成

このCGIシステムは次の環境が少なくとも必要です。必ずしもこの環境でなければ動作しないというものではなく、この環境で設計されているということです。この環境以外のサーバ、またはこの環境であっても他に特別な制限等があるサーバへの設置には、ご自身にてプログラムの修正が必要な場合があります。

- UNIX用のv4以上のPerl
- v2.0以降のjcode.pl
- sendmail, qmailなどの同等の動作が可能なメール送信処理(CGIからの実行が可能なこと)

このCGIシステムは、画面の構成や色などは、デフォルトでサンプルの通りに設定・記述されています。これは、カスタマイズできる技術を持っている方は直接プログラムをいじることができるでしょうから、そうではない方のために、あらかじめある程度のデザインを施しているためです。初期設定で背景や文字色を設定する場合は、その色によってはプログラム中をいじらないと見えにくくなる文字が出る場合がありますのでご注意ください。設置構成については、「CGIプログラムが任意の場所で実行できる」という条件で説明されています。その他の場合(CGIと文書・画像は別のディレクトリへ設置する必要がある等)は、その指示に従って設置し、その構成に従って初期設定を修正してください。



印のファイルには設定する個所があります。< >内はパーミッション値です。この値は相当値ですので、設置するサーバの環境に合わせて最適な値を設定してください。詳しくは当サイトのパーミッションに関するページをご参照ください。

このシステムはフレーム処理(index.html で展開される上下分割)で利用することが前提でプログラムされており、search.cgi や cargo.cgi を単独で利用する場合は、プログラム内のフレーム制御(target=)に関わる部分を適切にカスタマイズしないと、余計にフレームが生成されることとなりますのでご注意ください。

sample.html の例のように、商品説明を兼ねて別ページを表示する場合、フレーム内に表示されますので、そこから外部へリンクする場合は、フレームを解除することを忘れないようにしてください。

(参考) 特殊なターゲット文

TARGET="_blank"

これが指定されているリンクは、新しいブラウザ画面を起動してそこに表示されます。その新しいブラウザには名前は付いていません。

TARGET="_self"

これが指定されているリンクは、そのリンクがある画面内に表示されます。

TARGET="_parent"

これが指定されているリンクは、親フレームの中の子フレームよりリンクされ、その親フレームに戻った時に子フレームのみを解除します。親フレームがない場合は、TARGET="_self"の動作と同じです。

TARGET="_top"

これを設定しておけば、そのリンク先を表示する際に、全てのフレームを解除します。これはフレームのネストを防止する為に、他人のページにリンクする際には必要です。

ショッピングバスケット部分(cargo.cgi)と買い物が決まって申し込みを行うオーダーフォーム部分(order.cgi)を分けました。これにより、住所氏名などの記載を行うオーダーフォーム部分を SSL 対応にすることができます。呼び出す際に https を指定します。初期設定で order.cgi のアクセス方法を設定することで実現します。ただし、cargo.cgi と order.cgi は同じサーバ内にあり、かつ、データフォルダを共有できることが必須です。また、SSL はそれにサーバが対応している必要があります。

特定商取引に関する法律とは・・・

申し込み画面について「パソコンの誤操作等による消費者トラブルが増加していることに対応するため、申し込みに関し、わかりやすい画面表示を行う」ことが義務付けられました。当システムはその機能(最終確認画面)が追加(v3.4*~)されています。その他、プログラムの動作以外の詳細については、<http://www.jadma.org/> をご参照ください。

3 商品設定ファイルの作り方

これまでのバージョンとは異なり、商品データのみを専門に記述するファイルとなります。1行1件の商品を設定します。項目は8つあり、それぞれ半角カンマで区切られます。エクセルでのファイル編集に対応しています。手動でファイルをいじる場合は、次の点にご注意ください。サンプルデータ(data.csv等)が添付されていますので、メモ帳などのテキストエディタで見てみてください。商品名項目に、半角カンマ(,)やダブルクォーテーション(")を入れた場合の例がご覧いただけます。形式に合わないデータは一覧できませんのでご注意くださいとともに、画面上で商品データが表示されていることを確認してください。なお、edit.cgiを使って表示してみると、形式がおかしいデータははじかれますので、形式確認をすることができます。

- ・ 項目内のデータとしての”は”と表すこと。
- ・ 項目内に、”や”を入れる場合は項目自体を””で囲むこと。

マイクロソフト・エクセルを使えば、これらは意識することはありません。カンマ(,)をセパレータとするCSV形式で保存してください。まず、添付されている data.csv をエクセルで開き、それを元に御社の商品データを記述していくといいでしょう。

Usage: **商品コード,商品名,単価,備考,備考 2,備考 3,U R L,入力形式**

[商品コード]

半角の英字(下線を含む)、数字、ハイフン(-)で構成 (大文字小文字は区別される)

唯一の値を設定する。(ファイルを分ける場合でも、全体で同じコードがあってははいけません。)

[商品名]

任意の文字列(コロン:の位置に表示改行が入る)

[単価]

半角の数字(カンマや単位記号等は入れない)

[備考] (3項目分利用可能)

任意の文字列(商品の説明など)(コロン:の位置に表示改行が入る)

文字列検索の対象となります。

[U R L]

URL を設定すればされる。

相対または絶対パス(http://から)で設定する。

[入力形式]

0(または空欄):任意入力方式 1:チェックボックス 2:選択方式

4 初期設定と呼び出し方法

上記設置構成例の 印のあるファイルには初期設定があるので設定してください。全体の初期設定は、setup.pl です。なお、設置に自信がない方は、動作に必要最低限の設定だけをして設置構成通りに設置、動作確認をし、その後に文章などの設定を編集してください。そのために、サンプルデータ込みで配布しているわけです。

○ cargo.cgi はショッピングバスケットを制御するプログラムです。通常は何もオプションはつけません。ブラウザに記録されたクッキー情報を取得し、そのデータを/tmp/に一時記録されたバスケット内容ファイルを探して表示します。index.html で指定されているように、上下分割された下フレームのように、現在のお買い物額だけを表示する場合は、?_mode=under オプションをつけて呼び出します。

Usage: cargo.cgi[?_mode=under]

○ search.cgi は商品管理ファイルに設定されている商品を、注文できる形式に自動的に一覧するプログラムです。次の方法で呼び出します。

Usage: search.cgi?_file=ファイル名 (拡張子.csv は付けない)

○ edit.cgi は、商品設定ファイルをサーバ上で修正するためのプログラムです。サーバ上で書きかえられたデータは、当然ながらローカル上(パソコン上)には残りません。定期的にバックアップを心がけるか、できるだけローカル上で編集したものをサーバに転送するようにしてください。このプログラムで編集する対象となる商品設定ファイルのパーミッションは、<666>相当値に設定してあることが必要です。

Usage: edit.cgi?file=ファイル名 (拡張子.csv は付けない)

例 edit.cgi?file=data

5 設置して動作確認してみましょう

フレームを使っていないホームページで、商品設定ファイルは data.csv のみの場合

HTMLやCGIの知識が心配という方は、サンプルの通りに設置してみます。ダウンロードした一式をそのままの構成で、最低限の初期設定(印のあるファイル)のみをして、Perlのパスを確認して、転送モードに注意(画像以外はアスキーモードを利用する)してアップロードし、パーミッションを設定し、index.htmlからアクセスしてみてください。通常はこの方法で利用します。

フレームを使っているホームページ、または、商品設定ファイルが複数ある場合の参考例

もし、このシステムを、あなたのホームページが既にフレームで構成されていて、その中で利用したい場合は、読みこみたい枠にショッピングバスケットシステムの index.html が読みこまれるように設定してください。このような構成の場合、少なくとも3分割となりますが、その例としては、frame_sample.html からアクセスしてみてください。この場合の左フレーム(blank.html)は任意のHTMLです。特に、商品設定ファイルを複数用意した場合(種類別などに)は、一覧表示は商品設定ファイル毎になりますので、blank.htmlを見れば分かるように、それぞれの入り口を設定した index ファイルをリンクするようにします。frame_sample.htmlによって、左右フレームは left right という名前がついています。また、ショッピングバスケットシステムの入り口用の index により、up down という名前がついています。これらを構成するには、HTMLのフレーム制御に関する知識が必要となります。

blank.html

```
<a href="/index.html" target="right">商品群 1 </a><p>  
<a href="/index2.html" target="right">商品群 2 </a><p> これをクリックすれば、右フレームに index2.html が展開し
```

index.html

```
<frame src="search.cgi?_file=data" name="up">  
<frame src="cargo.cgi?_mode=under" name="down" scrolling="no" noresize frameborder="no">
```

index2.html

```
<frame src="search.cgi?_file=data2" name="up">  
<frame src="cargo.cgi?_mode=under" name="down" scrolling="no" noresize frameborder="no">
```

そして、さらに右画面が上下分割される手順・仕組みになります。

6 メンテナンス

/tmp/にはバスケットの内容が一時記録されています。これらのファイルは自動的に削除(cargo.cgi が実行された時に約 2 日経過したファイルが削除される)されますが、いつまでも残っているファイルは直接削除してしまって構いません。ファイル名を良くみていただくとわかりますが、日付がファイル名になっていますので、いつ作成されたファイルなのか判断できます。

7 シェアウェア登録

このシステムはシェアウェアです。試用・動作確認をした後で、ご利用される場合は所定の手続きで登録を行ってください。登録後にはシェアウェア登録コードが発行されますので、それを setup.pl の所定の位置に設定してご利用ください。

シェアウェアとは

http://www.rescue.ne.jp/cgi-rescue/cgi?kitei_Shareware

シェアウェア登録の手引き

<http://www.rescue.ne.jp/info/regist.html>

8 利用上の注意

このシステムを御社(貴方)自身でご利用になるのではなく、第三者に貸与(設置されたシステムをユーザに利用させる行為)する行為には、事業者登録が必要です。ショッピングモールなどの運用でご利用になる場合などが含まれます。事業者登録については、当サイトまでお問い合わせください。

© 1999 rescue.ne.jp

<http://www.rescue.ne.jp/>